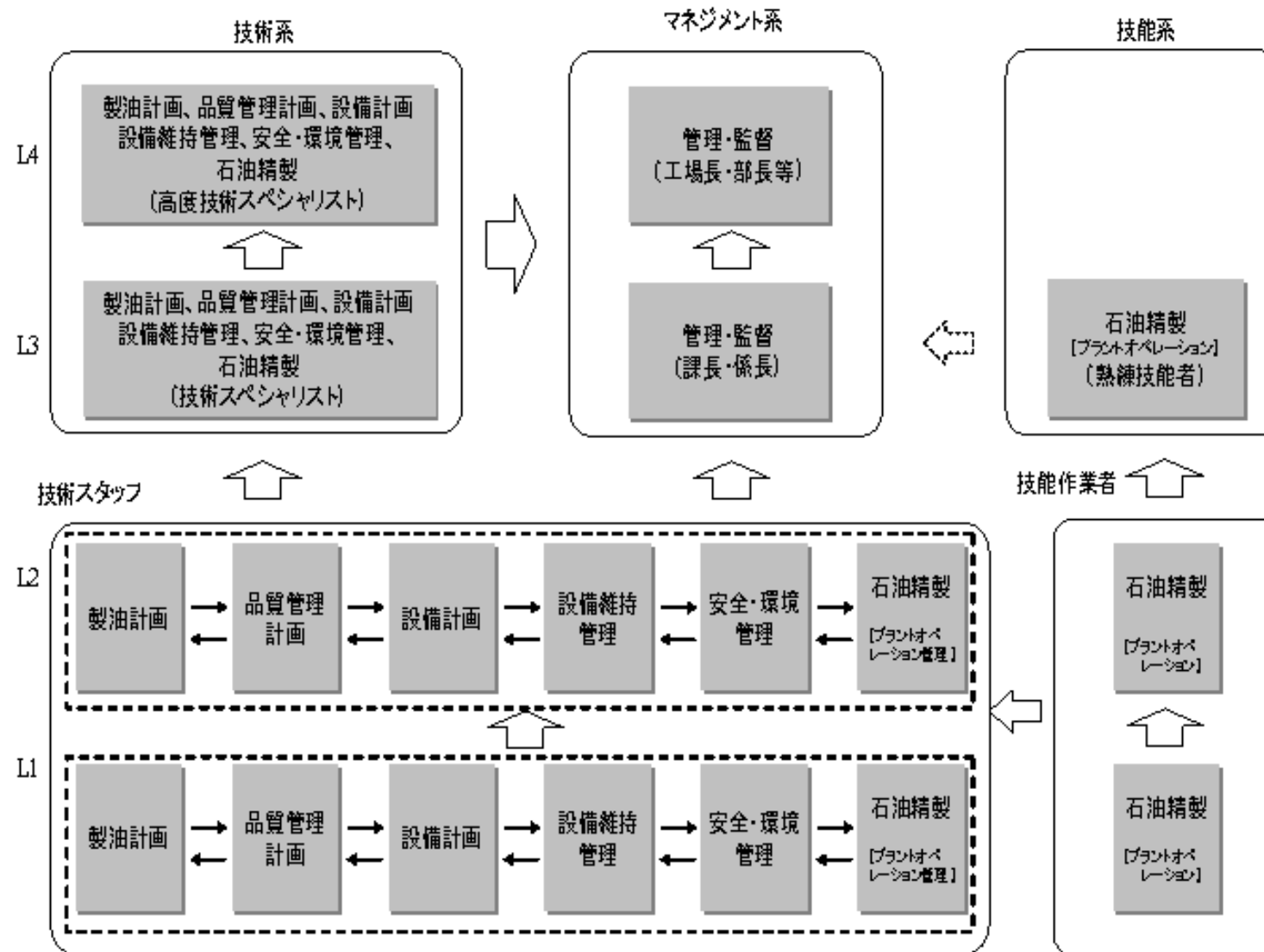


職業能力評価基準(石油精製業)レベル区分の考え

レベル	レベル区分の目安
レベル 4	<p>〈マネジメント系〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模組織の責任者もしくは最高度の専門職・熟練者として、広範かつ統合的な判断及び意思決定を行い、企業利益を先導・創造する業務を遂行するために必要な能力水準。 <p>〈スペシャリスト系〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・極めて高度な熟練技能を有し、精密な作業を正確かつ効率的に行い、製品の高付加価値化に貢献する能力水準。 <p>※役職イメージ:「部長」、「工場長」など</p> <p>※技能検定:特級程度の能力</p>
レベル 3	<p>〈マネジメント系〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小規模組織の責任者もしくは高度専門職・熟練者として、上位方針を踏まえて管理運営、計画作成、業務遂行、問題解決等を行い、企業利益を創出する業務を遂行するために必要な能力水準。 <p>〈スペシャリスト系〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度な熟練技能を有し、精密な作業を正確かつ効率的に行い、製品の高付加価値化に貢献する能力水準。 <p>※役職イメージ:「課長」、「ライン長」など</p> <p>※技能検定:1級程度の能力</p>
レベル 2	<ul style="list-style-type: none"> ・グループやチームの中心メンバーとして、創意工夫を凝らして自主的な判断、改善、提案を行いながら業務を遂行するために必要な能力水準。 <p>※役職イメージ:「班長」「主任」など</p> <p>※技能検定:1～2級程度の能力</p>
レベル 1	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者として、上司の指示・助言を踏まえて定例的業務を確実に遂行するために必要な能力水準。 <p>※役職イメージ:「一般作業員」など</p> <p>※技能検定:2～3級程度の能力</p>

石油精製業におけるキャリア形成の例



⇒はキャリア形成を示す。(なお、点線は実線に比べてスライドが少ないことを示す)